

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201252
法人名	NPO法人 ケア・サポート
事業所名	シーサイド
所在地	愛媛県今治市吉海町臥間46-2
自己評価作成日	平成22年1月11日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

介護する側・される側ではなく、人としての関わりを大切にしたい。利用者も職員も常に笑顔で過ごせるようにしていきたい。地域に根付いた施設となるよう、努力していきたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、利用者とともに毎月、近所の札所の清掃を行っておられる。札所は「利用者にとって心のよりどころ」となっており、時には、お賽銭を持ってお参りに行かれたり、島四国の縁日には、ぜんざいやお菓子の詰め合わせでお接待もされている。又、事業所主催の夏祭りには地域の方や中・高生の参加があり、屋台の手伝いや利用者の車椅子を押してくださる等、交流の場にもなっている。フラダンスを披露してくださった際には、利用者も飛び入り参加して楽しまれた。地域の文化祭には、利用者の習字や砂絵、絵手紙等の作品を展示してもらっている。職員の手書きで作成しておられる「シーサイド新聞」をご家族に送付されており、行事の様子等、写真を多く載せて伝えておられる。ご家族が新聞を見て、行事の手伝いを申し出てくださった方もあった。又、個々に利用者の様子を書き込む欄も設けておられる。夏祭りやクリスマス会に合わせて、家族会を年2回行っておられ、食事をしながらお話をうかがうようにされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

シーサイド

(ユニット名)

えがお

記入者(管理者)

氏名

菊川 孔子

評価完了日

平成 22年 1月 11日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) えがおを理念にフロアに掲示し、共有できる様努めている。	
			(外部評価) 法人理念とケア理念を居間に掲示されている。事業所では「誰でも覚えられるケア理念」として「笑顔・元氣」と掲げて、日々実践に取り組まれている。法人代表者は、新人職員の研修時、理念を作成した経緯を話し、事業所の目指すことを説明されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 誰でもきてもらえる様、玄関前にベンチをおいている。畑作りを通して近所の人に苗を頂いたり、作り方を教えてもらったりしている。地方祭、夏祭り等、近所の方・ボランティアの協力を得ている。保育所・民生委員さんの訪問また、教室(レクレーション)に地域の方がきてくれている。	
			(外部評価) 事業所では、利用者とともに毎月、近所の札所の清掃を行ってられる。札所は「利用者にとって心のよりどころ」となっており、時には、お賽銭を持ってお参りに行かれたり、島四国の縁日には、ぜんざいやお菓子の詰め合わせでお接待もされている。又、事業所主催の夏祭りには地域の方や中・高生の参加があり、屋台の手伝いや利用者の車椅子を押してくださる等、交流の場にもなっている。フラダンスを披露して下さった際には、利用者も飛び入り参加して楽しまれた。地域の文化祭には、利用者の習字や砂絵、絵手紙等の作品を展示してもらっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 毎年島四国遍路市には、入居者・職員でお接待をさせていただき、島内また遠方からの巡拝者に喜んで頂いている。何百年も続いている行事を大切にしたい。毎月定期的にまた、散歩時等、近くの札所清掃を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に一度運営推進会議を設けている。事業所の新聞や行事、利用者状況など報告させていただいている。参加者からは、お褒めの言葉や、今後のことなど活発に気さくな意見を頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>2ヶ月に1回、ご家族や民生委員、市の担当者にも出席いただき、併設の小規模多機能型事業所と合同で会議を開催されている。事業所からは、利用者の状況や活動の報告を行い、意見をうかがっておられる。ご家族には、夏祭りに参加した際の感想等も聞いておられる。地域の代表者から花火大会の際、花火がよく見える場所を教えていただいたり、保育園の運動会に利用者が見学に行かせてもらうことについて、民生委員の方が保育園に口つなぎをして下さった。会議の議事録は、家族会の際に各ご家族にお渡ししている。</p>	<p>管理者は「会議にご家族の参加を増やしたい」と話しておられ、会議の開催時間等についても工夫をしたいと考えておられた。又、会議を活かして、さらに地域の方達との関係も深めていかれて、事業所のケアの向上に向けた取り組みを拡げていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支所の推進会議メンバー以外にも、市役所からの訪問があり、意見を頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議に出席いただき、災害時の避難場所や介護保険について質問に答えていただいたり、地域包括支援センターの提案で介護教室の開催を計画中で、今後、センターと協力し合い介護教室を開催される予定となっていた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>施設内研修等に於いて、勉強会を開き、話し合う機会を作っている。職員間で意思統一し、防止に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>身体拘束について、新人職員には、日頃のケアの中で先輩職員がスピーチロック等、具体的に知ることができるよう話しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 施設内研修等で、勉強会を開いている。職員間でも意思統一を目指し、家族とも話す機会を作っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度、福祉サービス利用援助事業のパンフレットを常備し、必要に応じて利用できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に家族の不安・心配なことをお聞きし、重要事項説明書等で、十分説明し理解納得して頂けるようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 受付に意見箱を設置し、積極的に意見を取り入れられるようにしている。契約時には、重要事項説明書や苦情のフローチャートで説明し、周知している。また、職員にも苦情処理システムを徹底し、意見のあった時は、職員間でも解決に向けて話し合いをしている。 (外部評価) 職員の手書きで作成しておられる「シーサイド新聞」をご家族に送付されており、行事の様子等、写真を多く載せて伝えておられる。ご家族が新聞を見て、行事の手伝いを申し出てくださいました方もあった。又、個々に利用者の様子を書き込む欄も設けておられる。夏祭りやクリスマス会に合わせて、家族会を年2回行っておられ、食事をしながらお話をうかがうようにされている。	管理者は「今後さらにご家族の思いを知り、事業所のサービスの向上につなげていきたい」と話しておられた。ご本人の体調のことやケアについて等、ご家族のお気持ちやサービスについての希望等を聞き取り、話し合ったり、今後さらにご家族との関係を深めていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティングや日常の会話も積極的に行い、率直な意見・本音を引き出せるようにし、前向きに検討している。	
			(外部評価)	
			職員からの提案で、居室に置いている紙おむつ等にバスタオルを掛けたり、バスケットに整理をされた。又、お部屋の乾燥を防ぐために濡れたタオルをかけたリ「足先が冷える利用者の方にはカイロを使う」等、職員からのアイデアを採り入れておられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			全職員に研修に参加できる機会がある。個々職員に話し、意見を聞く機会を作っている。向上心が持てるよう利用者個々に担当を決めたり、月行事を分担し計画実施している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			外部研修にも積極的に参加するよう、パンフレット等配布している。その内容はミーティング時に他職員にも伝達している。内部研修は、ミーティング時にその都度必要事項、実技の研修も行っている。現場研修では、マンツーマンで、お互い成長できるよう取り組んでいる。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			研修の機会を通じてのネットワークづくりや、法人内の事業所間の合同ミーティングを開催している。また、毎月関係施設合同の会議開催時は、困難事例等について話し合っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入所相談時、本人・家族を交えての面接により情報収集し、入居までに職員間で共有し、受け入れできるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所相談時、本人・家族を交えての面接により情報収集し、入居までに職員間で共有し、受け入れできるようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所相談時、本人・家族を交えての面接により情報収集し、インフォーマルなサービスも含めて対応している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護する側される側でなく、もし自分だったらという思いで関わらせていただいている。昔ながらの行事等は利用者へ教えていただきながら、なるべく対等な関係を作れるよう努めている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>随時家族の意向を伺い、尊重しながら利用者本人にとって一番良い介護を行っていけるよう努めている。夏祭り、クリスマス等の行事を家族と一緒に行う他、家人とスタッフが連携を取り、日常生活・身体状況等を伝えたり定期的な園内新聞を送ることで、家族と利用者の関係をより良いものにしようと努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>希望を聞いて外出レク(買い物等)また、近くを散歩する等し、以前からの顔見知りの人とのふれあいができるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自分で描いた絵手紙を、娘さんやお孫さんに送り、お返事をもらったり、ご家族と馴染みの美容室に行かれたり、ご家族が散髪される方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) お一人おひとりのいいところを探し、職員が入居者間の橋渡し役になるよう共通の話題を見つけ、会話しやすいように支援し、関わっている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 医療的管理等が必要となり、やむなく退居の場合、定期的にお見舞い等をし、本人・家族との関わりを継続し、相談にのらせて頂いている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 言葉で表現できにくい本人の想いは、表情や仕草などから気づくよう努めている。また、ミーティング等で本人の意向に添って統一したケアを目指している。また家族からも会話のなかから新たな情報収集をしてケアにいかしている。 (外部評価) 利用者との会話をそのままの話し言葉で経過記録に記録されている。職員は、夜間時の利用者がゆったりした時間にお話を聞かせてもらったり、お手玉遊び等のきっかけで子どもの頃のお話を話してくださることもある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所相談時、本人・家族を交えての面接により情報収集し、職員間で共有し、受け入れさせていただいている。また、入所してからは日常会話の中でみつけている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 入所相談時、本人・家族を交えての面接により情報収集したことを基本に、日々の関わりの中からアセスメントしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>本人・家族の想いを尊重しながら、現状把握に努め、月に1度のミーティングを開き、職員みんなの意見を出し合い、計画に反映している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>ご家族の来訪時等にケアへの要望等をお聞きして、担当の職員が介護計画を立案し、職員全員で話し合い作成されている。計画は3ヶ月ごと、又、状態変化時も見直しをしておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>個別ケア記録を作成し、関わりが誰でもわかるようにしている。カンファレンスの時には参考にし、計画の見直しにも役立てている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>希望により外出・外泊をする、また外出時、外泊時の注意点や帰所したときは、外出・外泊時の様子を細かく連絡し合っている。理美容利用・個人的な買い物等も同行し、支援している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>希望により外出・外泊をする、また外出時、外泊時の注意点や帰所したときは、外出・外泊時の様子を細かく連絡し合っている。理美容利用・個人的な買い物等も同行し、支援している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>地域の老人会への参加、定期的な民生委員さんの訪問、ボランティアの受け入れ、学生現場実習の受け入れ、地域文化祭への出展、消防訓練実施時の地域消防署との関わりなど積極的に地域と関わりを持てるように支援している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>地域の老人会への参加、定期的な民生委員さんの訪問、ボランティアの受け入れ、学生現場実習の受け入れ、地域文化祭への出展、消防訓練実施時の地域消防署との関わりなど積極的に地域と関わりを持てるように支援している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>地域の老人会への参加、定期的な民生委員さんの訪問、ボランティアの受け入れ、学生現場実習の受け入れ、地域文化祭への出展、消防訓練実施時の地域消防署との関わりなど積極的に地域と関わりを持てるように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) その都度健康状態に気を付け、かかりつけ医との連携 を密にし、上申または受診している。利用者の希望に より、協力病院以外の受診も支援している。月1度の定 期受診も行っている。家族への報告も定期的に行って いる。	
			(外部評価) ご本人やご家族の希望をお聞きして受診する病院を決 めておられる。現在、ほとんどの利用者が協力医での 受診となっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 情報を共有し、個々の利用者が適切な受診や看護を受 けられるよう支援している。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) かかりつけ医もしくは、協力医との連携を持ち、主治 医やそこで勤務する看護職と日頃から気軽に相談でき る関係づくりをし、情報交換している。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) かかりつけ医もしくは、協力医との連携を持ち、そこ で勤務する看護職と日頃から気軽に相談できる関係づ くりをしている。ターミナル等が考えられる場合は、 早い段階で意向確認し、対応している。	
			(外部評価) 「事業所で最期まで見てほしい」と希望するご家族も 増えて来ているようであるが、事業所では医療が必要 になると看れないことをご家族等に説明し「ぎりぎり のラインまでは看させていただく」ことに努力をされ ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 事故発生時どうすれば良いかマニュアルを作っている。直ぐに医療機関と連携が取れる体制を取っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的な避難訓練や災害訓練を行い、スタッフは災害時どう対応すればいいかを身につけている。地域消防署との連携も日常的にあり、協力体制にある。	
			(外部評価) 年2回、避難訓練を実施されており、消防署の協力を得て消火器の使い方や消火栓の確認をされたり、避難時には火元の確認や戸をきちんと閉める等、アドバイスをいただいた。今年度中にスプリンクラーの設置を予定されていた。	地域の高齢化に伴って、地域との協力体制がむづかしい現状のようである。事業所の建物は耐震性に優れているとのことでもあり、又、地理的に高い位置にある利点も活かして、管理者は「地域に避難場所として提供するなどの話もしていきたい」と話しておられた。職員は「夜勤時に落雷があり、停電になって非常灯が点いたが、利用者が起きたり対応がむづかしかった」と話されていた。そのようなこともきっかけにされて、さらなる利用者・職員の安心や安全のための取り組みを続けていかれてほしい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) プライバシーを損ねるような言動がないか、職員間で絶えず意識し、個人情報の取り扱いにも注意しあっている。	
			(外部評価) 利用者の失禁等には、他の利用者に気付かれないような声かけに努めておられる。職員は「声かけするとき命令口調にならないように気を付けています」と話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 言葉で表現できにくい本人の想いは、表情や仕草などから気づきを大切にしている。日々の生活の中で協力していただけるよう関わっている。役割がある・やりがいのある状況を作る様にしている。利用者とも話しあい、何をしたいか、何ができるかを考えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事・入浴時間も可能な限り本人の希望や要望を聞き、その日の状態を把握しながら支援していく。夜間不眠時は、日中居室で休む時間を作っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その日の洋服は、本人と一緒に選べるよう配慮している。着脱・整髪・モーニングケアなど、必要時に応じてお手伝いしている。理美容は、本人希望で選択できるようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その人に合った食事形態を工夫している。食事の後のテーブル拭きや御膳拭き等手伝ってもらっている。また、外食レクなども行い、施設では味わえない雰囲気も楽しんでもらっている。 (外部評価) 現在、ご飯とお吸い物は各ユニットで作り、副食は、業者から食事が届き、温めて食べるようになっていいる。利用者の状態によっては、食事をミキサーにかけて提供されている。調査訪問時、ミキサーにかけた食事を利用者の口に運ぶ際に職員は「さんの好きなかぼちゃよ」と声かけしながら介助をされていた。事業所の畑で採れた野菜で、利用者と一緒にお漬物や切り干し大根を作っておられる。ご近所でキャベツをいただいた折には、たこ焼きをおやつに作ったり、どら焼き等、おやつを手作りされることもある。	食事を楽しむための支援について、事業所でさらに工夫できることはないだろうか。事業所として工夫できる点や、職員がかかわることについて工夫できることはないか、ご家族や運営推進会議のメンバーのご意見をうかがってみてはどうだろうか。又、法人も含めて話し合われてみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) メニューは栄養士がたてたものを使用している。日々の食事量・水分量など記録し、摂取量がわかるようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアしている。個人で歯ブラシや歯磨き粉を用意し、清潔保持に努めている。自分でできない人に対しては、職員がガーゼ等で拭いている。口腔状態の観察も同時に行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表の活用により、排泄パターンを個別でつかみ、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援している。また、定期的に声かけやトイレ誘導し、自分で排泄できるように支援している。トイレの位置がよくわかるよう目線に合わせた表示をしている。 (外部評価) 居室からお好きなバナナのマークをたどっていくと、トイレまで行けるように印を付けて支援しておられる方もあった。耳元で声掛けしてトイレにお誘いしたり、少し時間をおいて、声を掛ける等、タイミングも見ながら支援されている。職員は、トイレトペーパーの端を三角形に折って利用者の使用しやすいようにされていた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎食時に汁物を付け水分を多く摂ってもらったり、野菜を多く含む献立にしている。食事以外でもこまめに水分補給を行い、レクや散歩などの運動をしてもらうことによって便秘予防に努めている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日でも希望があれば対応する。本人の希望を優先し、身体状況が許せば柔軟に対応している。また、季節に応じてしょうぶや柚子などを入れている。入浴剤を入れたりもしている。 (外部評価) 毎日入浴したい方や午前中に入浴したい方もおられ、希望に合わせて支援しておられる。入浴中は、大衆浴場等、お若い頃のお風呂の風習についてのお話を聞かせてもらったり、懐かしい歌を教えていただくこともある。入浴を嫌がる方には、散歩の後で「汗をかいたからお風呂に入りましょうか」と声をかけて、入浴にお誘いすることもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の散歩やレク等で活動量を増やすこと、ゆっくり関わることで、気持ち良く眠れるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医薬品情報をカルテにはさみ、スタッフがいつでも薬について学べるようにし、必要に応じ、本で調べたり看護師に聞くなどして、より詳しく内服について学べるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴等からアセスメントし、笑顔が引き出せるよう支援している。畑仕事、かんたんな掃除、お膳拭き等利用者の身体能力に合わせて役割を持っていただけるよう関わっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望時、利用者の体調・様子を見ながら、散歩や外出をしている。毎月札所掃除、外出レク等で近所の方たちとの交流も図れている。外食レク等も行い、気分転換も図っている。外食レクでは家族も一緒に参加することもある。	
			(外部評価) 事業所では計画を立てて、桜や紅葉等、季節ごとに外出をしておられる。桜井の天満宮へ梅を見物に出かけたり、お弁当を持って近くの水軍公園へ出かけることもある。又、普段は、職員とごみ出しされたり、事業所の畑に行ったりされている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) おこずかい程度を預かっており、希望時にはいつでも使用可能にしており、買い物時など本人から支払いできるように支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 定期的に本人かレクで作った絵はがきで手紙を書いたりしている。電話も希望があればできるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>24時間換気システムを導入し、また、定期的に窓を開けて換気を行っている。床暖房の温度調節、窓にはまぶしくないよう鏡面フィルムを貼るなどの配慮をしている。テレビの音量にも気をつけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には梅やシクラメンの花があり、居間には水仙等の季節の花が飾られていた。居間の少し離れた場所にソファが置かれてあり、「みんなと一緒にいたいけど、少し離れた場所でゆっくりしたい時」等に過ごすような場所となっている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>フロアにテーブル・椅子だけでなく、移動置を設置し、少人数でも会話が楽しめるようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人の好きな物、自分で作った作品などを飾っている。使い慣れたものを持って来てもらったりし、安心して快適に生活できるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、ご本人のお気に入りのぬいぐるみやご家族の写真、砂絵、押し花等のご自分の作品を飾っておられる方もあった。居室をご自分で掃除をされる方もある。</p>	利用者一人ひとりの居室について居心地の良さという点から、居室の環境について点検されてみてはどうだろうか。ご本人がご自宅で過ごされていた時の環境等も参考にされたり、ご本人ご家族の希望等もお聞きしながら職員でアイデアを出し合い、工夫を重ねていかれてほしい。
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレや浴室・共用部分はわかりやすいように飾り付けをしたり、誰でもわかりやすい工夫をしている。</p>	